



平成8年第131回春季講演大会 討論会 講演募集案内

▶ 申込締切日 平成7年12月20日(水)
▶ 会期 平成8年3月26日(火)～28日(木)

平成8年第131回春季講演大会(平成8年3月26日～28日、千葉工業大学芝園校舎)の討論会講演を下記により募集いたします。

1. 討論テーマ

(1) 「高炉における微粉炭の燃焼およびチャーの反応挙動」 座長 山口一良(新日鐵) 副座長 柏谷悦章(北大) 上條綱雄(神鋼)

鉄鋼業におけるコークス炉老朽化、炭酸ガス排出抑制等の環境問題に対処するために、高炉における微粉炭多量吹込み技術の開発は最重要課題の1つである。これを受けて、すでに実炉において微粉炭比200kg/t-pig以上の実績が達成されており、目標を250kg/t-pigに掲げてさらに開発を実施しているのが現状である。微粉炭多量吹込み操業を安定的に達成するためには、微粉炭燃焼性向上・燃焼限界の見極め、および未燃チャー消費性向上・消費限界の見極めが必要であり、現在精力的にモデル実験、数学モデルシミュレーション、実炉試験等が実施されているが、標記テーマに絞って討論会の場で論議をしたことはまだない。

今回は標記テーマに焦点を絞り、微粉炭比の目標を250kg/t-pigにおいた場合の燃焼限界の議論をすることを基に、企業、大学、海外の若手研究者、技術者より広く微粉炭の燃焼、チャーの反応に関する講演を募集する。また討論会本来の姿に戻り、講演よりも議論に重点をおいた討論会とする。

(2) 薄板製造プロセスにおける板幅高精度化技術 座長 河野輝雄(住金) 副座長 升田貞和(NKK)

近年薄板製造における形状・寸法の高精度化は著しいものがあるが、更なる向上が望まれている。ここでは熱延粗圧延での幅プレス等板幅サイジングやAWC、熱延仕上げ圧延での蛇行・キャンパーやAWC、ホットランテーブル上での幅ネッキング、冷延タンDEM圧延や連続焼鈍ラインでの幅縮み等、板幅変動やキャンパー発生要因の解明とそれらの制御技術に関し、活発な討論を実施する。

(3) 「IF鋼の微細析出物/介在物と材料特性」 座長 秋末治(新日鐵) 副座長 日野谷重晴(住金)

鋼に含まれるC、Nを可能な限り少なくしたうえで、さらにNb、Tiを当量以上添加し、固溶C、Nを十分減らしたIF鋼は極めてプレス成形性に優れ、主に自動車用の車体材料として多量に使用されている。さらに、固溶C量の調整した塗装焼付硬化鋼板やCu添加鋼板などプレス成形性を維持しつつ強度を高めた材料の開発が進んでいる。IF鋼は材料研究から製造技術まで我国で開発、実用化された材料であり、相変態、析出、集合組織形成、加工脆化など金属材料学的にも大変興味ある材料である。

また、微量のC、N、P、Sを制御するIF鋼の製造を支える分析技術や、材料特性を左右するサブミクロンの微細析出物の電子顕微鏡による解析や抽出分離定量など分析評価技術の上でも課題の多い材料である。そこで、IF鋼に関する材料技術者と分析技術者が、それぞれの技術の現状を相互に認識し、IF鋼の特性をさらに向上するために何が必要か、何をすべきかを討論する。

2. 申込み締切日:平成7年12月20日(水)必着。締切後は受け付けられません。

3. 申込みに当たって必要な書類:①講演申込書(本号添付) ②講演申込み受けはがき(切手貼付け)と連絡カード(本号添付) ③1995年の会員証写し(講演者を含め、著者の半数以上が本会会員であること) ④講演概要原稿・本号掲載の一般講演募集案内執筆要項参照・A4判所定用紙4枚以内(所定用紙は有償頒布です。ファクシミリでお申し込み下さい。(03)3245-1355 担当:刊行物管理グループ 林) ⑤講演概要原稿のコピー2部

4. 講演の採否:①座長・副座長が講演原稿を審査し決定いたします。②受理いたしかねる場合のみ、発表者に連絡いたします。

5. プログラム:会報「ふえらむ」Vol.1(1996), No.3に付録として添付。

6. 講演概要:「材料とプロセス」Vol.9(1996), No.1, 2, 3の該当号に掲載。

7. 申込み・問合せ先:〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 (社)日本鉄鋼協会編集・業務グループ講演大会討論会係 なだ 為田
TEL(03)3279-6022(代) FAX(03)3245-1355

講演大会参加費を含む講演論文集「材料とプロセス」価格

講演大会に参加される方は、講演論文集「材料とプロセス」の携帯とネームカードの着用が必要です。「材料とプロセス」価格は次の通りです。詳細は本会学会部門事務局宛お問い合わせ下さい。

	会員年間予約価格 1分冊:春秋各1冊(円/2回)
正会員	6,000
学生会員	2,200

	当日価格1冊(円/1回)
正会員	7,000
学生会員	2,500
非会員	20,000
学生非会員	6,000

平成8年度俵・澤村論文賞候補論文推薦に関するお知らせ

「鉄と鋼」Vol.81(1995)No.1～No.12に掲載された論文、及び「ISIJ International」Vol.35(1995)No.1～No.12に掲載された論文の寄稿者は、自著の論文に限って、「鉄と鋼」掲載の場合は俵論文賞、「ISIJ International」掲載の場合は澤村論文賞の候補論文に推薦することができます。推薦要領は下記の通りです。

1. 候補論文推薦締切:平成8年1月10日必着(以降は受け付けられません)

2. 必要書類:指定推薦用紙1通

3. 推薦用紙の申込送付先:日本鉄鋼協会学会部門編集・業務グループ俵論文賞/澤村論文賞係 TEL(03)3279-6022(代) FAX(03)3245-1355